

福生 高等学校 令和6年度（2学年用） 教科 芸術 科目 音楽Ⅱ

教 科： 芸術 科 目： 音楽Ⅱ 単位数： 2 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組～ 7 組

使用教科書：（音楽Ⅱ Tutti+ 教育出版）

教科 芸術 の目標：

【知識及び技能】各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

科目 音楽Ⅱ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。	自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。	主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			歌	器	創						
1 学 期	斉唱・合唱・楽典 【知識及び技能】 曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体を使い方などの技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 曲想と音楽の構造や歌詞との関わりを理解する。表現を工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 自己のイメージをもって、創意工夫して歌う。	オリエンテーション 科目の説明 ・教材 ・学習方法 ・発声 曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体を使い方 表現に必要な技能の習得。 ・曲想と音楽の構造や歌詞との関わり。 ・聴き合い ・譜読み ・楽典の基礎的事項の確認 ・筆記テスト	○			○	【知識及び技能】 ・曲想と音楽の構造や歌詞との関わりについて理解している。 ・創意工夫を生かした歌唱表現のため、発声言葉の発音、身体を使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成を知覚し、どのように歌うかについて表現意図をもっている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・曲想と音楽の構造や歌詞との関わりに関心をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○	10
	ギターを弾こう 【知識及び技能】 ギターに興味をもち、ギターの基礎的奏法の技能を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 音色やリズム、旋律、和音の関係、音階の学習をし、自ら鍵盤楽器で弾いて表現の工夫をする。 【学びに向かう力、人間性等】 ギターの演奏に関心をもち、主体的に器楽の活動に取り組む。	・楽典の初歩 音階と和音（ギターコード表）を鍵盤楽器を併用して学習する。 楽譜の読み方 ・ギター奏法の基礎技能の習得 ・演奏姿勢 肩 腕 手首 指 指先 構え方 ・独奏 2重奏 アンサンブル				○	【知識及び技能】 ・曲想とギターの音色や奏法との関わりについて理解している。 ・創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、曲にふさわしい奏法、身体使い方などの技能を身に付け、器楽で表している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・曲想とギターの音色や奏法との関わりに関心をもち、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○	10
	実技試験							○	○	○	4

福生 高等学校 令和6年度（2学年用） 教科 芸術 科目 音楽Ⅱ

教 科： 芸術 科 目： 音楽Ⅱ 単位数： 2 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組～ 7 組

使用教科書：（音楽Ⅱ Tutti+ 教育出版）

教科 芸術 の目標：

【知識及び技能】各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

科目 音楽Ⅱ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。	自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。	主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			歌	器	創						
2 学 期	斉唱・合唱 【知識及び技能】 曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体を使い方などの技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 曲想を歌詞の内容にかかわらせて、音楽表現を工夫し、どのように声を合わせるか表現意図をもっている。 【学びに向かう力、人間性等】 声を合わせる活動に関心をもち、それらの演奏効果を生かして歌うことに主体的に取り組もうとしている。	・発声 身体の使い方 ・歌詞の内容 ・気を付けたい発音 鼻濁音 ・歌詞に込められた思い ・各パートごとの正確な読譜 ・曲想 ・曲中での自分のパートの役割の変化 ・音色、リズム、強弱、形式、構成 ・アカペラ曲の特徴	○			○	【知識及び技能】 ・曲想と音楽の構造や歌詞との関わりについて理解している。 ・創意工夫を生かした歌唱表現のため、発声、言葉の発音、身体を使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成を知覚し、どのように声を合わせるかについて表現意図をもっている。 【学びに向かう力、人間性等】 声を合わせる活動に関心をもち、主体的・協働的に合唱の学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○	10
	アンサンブルを楽しもう ギター・箏を味わおう 音色や表現の特徴を味わうとともに、奏法を身に付け、音色や表現を工夫して個性豊かに演奏する 【知識及び技能】 楽器に興味をもち、基礎的奏法の技能を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 音色やリズム、旋律、和音の関係、音階の学習をし、自ら鍵盤楽器で弾いて表現の工夫をする。 【学びに向かう力、人間性等】 楽器に関心をもち、主体的に器楽の活動に取り組む。	・楽典の初歩 音階と和音（ギターコード表）を鍵盤楽器を併用して学習する。 楽譜の読み方 ・奏法の基礎技能の習得 ・演奏姿勢 肩 腕 手首 指 指先 爪 構え方 ・独奏 2重奏 アンサンブル		○		○	【知識及び技能】 ・曲想と音色や奏法との関わりについて理解している。 ・創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、曲にふさわしい奏法、身体使い方などの技能を身に付け、器楽で表している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・曲想と音色や奏法との関わりに関心をもち、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○	10
	総合芸術における音楽の魅力 【知識及び技能】 様々な時代の音楽や作曲家の特徴と、その文化的・歴史的背景との関連を知る。 【思考力、判断力、表現力等】 音楽表現の共通性や固有性について考える。 【学びに向かう力、人間性等】 様々な時代の文化的・歴史的背景との関連に関心をもち、鑑賞に主体的に取り組む。	・作曲家年表 ・音楽史と史実 ・ミュージカル作品				○	【知識及び技能】 ・曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、音楽の特徴と文化的・歴史的背景や他の芸術との関わりについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・総合芸術において物語と音楽が関わり合いながらどのような表現上の効果をもたらしているか、また音楽と他の文化が互いにどのように影響をし合って発展してきたかに関心をもち、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○	4
	実技試験							○	○	○	4

福生 高等学校 令和6年度（2学年用） 教科 芸術 科目 音楽Ⅱ

教 科： 芸術 科 目： 音楽Ⅱ 単位数： 2 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組～ 7 組

使用教科書：（音樂Ⅱ Tutti+ 教育出版）

教科 芸術 の目標：

【知 識 及 び 技 能】各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

科目 音楽Ⅱ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。	自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよきや美しいを自ら味わって聴くことができるようにする。	主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたる音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

[illegible]